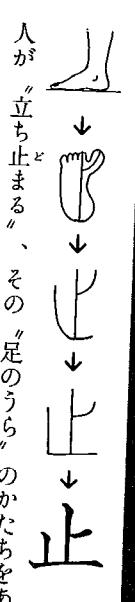


止
二年
画数 4
筆順 オン
クン
成り立ち



とIIまるIIめる

人が「立ち止まる」、その「足のうら」のかたちをあらわした字で、「立ち止まる」ことをあらわしたもので。それで、「とまる」とよみます。
人にかぎらず、「車が止まる」というようにもつかいます。だから、「車を止める」ことにもつかわれます。

【この字は、元は「足くび」から下の「足」の意味、もしくは「足跡」の意味の字である。「止まる」意味に用いられるようになり、元の「足」や「足跡」を表すために、「趾」、「址」という字が作られた。】

市
二年
画数 5
筆順 オン
クン
成り立ち
いち
一 十 八 市



成り立ち

「あし」のうらのかたちをあらわし、「止まる」というみをあらわした「止」と、「布」のいみをあらわした「巾」とを組み合わせてつくった字です。

「止ま」つて「布」をうるところ」をあらわした字です。むかしの「市場」は、「布」のうりかいがいちばんおかつたので、「巾」という字をつかって「市」という字をつくりました。

「市」は人がおおくあつまり、にぎわうところですから、「人のおくすんでいる町」を「市」という字であらわすことになりました。

△うんどうかいが、あめで中止になりました。
△こうえんをあるいていると、きゅうにボールがとんできたので、びっくりして立ち止まりました。
△とけいが止まつてしまつたので、いなんじかわかりません。

△休止 (いつたん休むこと。「つかれたので、ここで小休止しましよう」などといいます。)

△中止 (途中で止めること。) △停止 (途中で止めること。途中で止めること。) 「バスが急停止したので、みんなびっくりしました」などといいます。)

△廃止 (やめること。「そのきそくは、もう廃止されました」などといいます。)

△静止 (静かに、うごかないで止めること。)

△明鏡止水 (明るくすんだ鏡と静かに止まっている水ということから、明るくすんで、おちついだところのたとえ)

熟語例

使い方

△「八日市」という都市のなまえは、むかし市場があつたなごりなのだそうです。

△魚市場でせりをしているところを、テレビでみました。男の人、すごい早口で、魚をうつっていました。魚をかいにきた人は、まわりをとりかこんで、手を上げたり、さけんだりしていました。

△東京やニューヨークなどの大都市には、まいねん、たくさん的人が、けんぶつにおとれます。

△○○市では、市民のみなさんに、みどりをふやすうんどうをよびかけています。

熟語例

△市場 (①きまつた日に、たくさんの人があつまつて、しなものをうりかいするところ。②やおよさんやさかなやさんやにくやさんなどのおみせがあつまつていて、しようばいをしているところ)
△都市 (人がたくさんあつまつて、すんでいるところ。
△大きな町)
△市民 (市にすんでいる人)
△市町村 (市と町と村)